

心と心が
地域をむすぶ

いみず野

編集／発行 いみず野農業協同組合 総務課 富山県射水市北野1555-1 TEL 0766(52)0023 FAX 0766(52)5955 平成26年4月1日

URL: <http://www.ja-imizuno.or.jp/>



今月の表紙

地元で採れた旬の野菜で
賑わう農産物直売所「菜っちゃん」



JAいみず野果菜グループ
(JAいみず野 新湊育苗センターハウス内)

新人紹介

よろしくお願い致します！



貯金為替課 森田 彩香

地域の方々のお役に立てるような職員になれるように頑張りたいです。よろしくお願いがいたします。



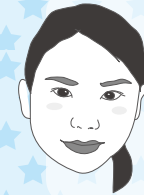
小杉支店 倉田 歩実

最初はご迷惑ばかりをおかけするかもしれませんが、みなさまのお役に立てるよう、精一杯努めます。何でも教えてもらえると助かります。よろしくお願いがいたします。



太閤山支店 坂野 千尋

社会人として今までなかった責任感を背負って人一倍地域の方々の為に頑張っていきたいと思っています。



新湊南支店 金 千尋

今まで以上に農業へ関心を持ち、地域の皆さまの力になれるよう一生懸命勉強したいと思っています。よろしくお願い致します。



三島野支店 浦野 結梨花

初めての就職で、わからない事や戸惑う事もあると思いますが、毎日笑顔で、地域の方々のお役に立てるようJA職員として精一杯頑張ります！よろしくお願い致します。



東部支店 宮垣 美沙

わからない事だらけだと思いますが、早く仕事を覚えて笑顔を忘れず毎日元気に働きたいです。よろしくお願い致します。



南郷支店 伊藤 心之介

この度新しく入組しました伊藤心之介です。若輩者ですが組合員の皆様、地域の皆様のお役に立てるよう、一日でも早く仕事を身につけ一人前になりたいです。



大島支店 吉岡 祐樹

初めはわからない事が多くあると思いますが日々努力して一日でも早く仕事に慣れるようにがんばります。今後ともよろしくお願い致します。



大門支店 寺腰 将司

まだわからないことだらけですが、地域の皆様のお役に立てるよう精一杯努力していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



農業機械課 土合 健太

地域の方々に頼られる職員になりたいと思います。分からないこともたくさんあると思いますが、早く仕事に慣れるようがんばります。これから、よろしくお願い致します。



営農施設課（臨時職員） 大表 雅典

一生懸命働いて親孝行がしたいです。みなさんにおいしい作物を提供したいです。みなさんに信頼される人になれるようがんばりたいと思います。

平成27年4月 採用職員募集のご案内

平成27年4月採用の職員採用試験を次の通りに実施致します。

- 応募資格 射水市及び周辺地域在住者で、平成27年3月末までに短期大学・大学を卒業見込みの者、及び卒業者
- 募集人数 若干名
- 試験会場 富山県農協会館
- 試験日時 平成26年6月2日(月)
- お問い合わせ・申し込み先

JAいみず野本店 総務課 射水市北野 1555-1 TEL(0766)52-0023

※試験・応募書類についての詳細は、募集要項に記載されていますので、上記までお問い合わせ下さい。



応募期間
5/16(金)まで

水稻栽培研修会開催

3月25日(火)、いみず野営農管理センターにおいて「水稻栽培研修会」が行われました。この研修会では、高岡農林振興センターやJAいみず野営農部から水稻育苗・直播栽培・重点技術対策のポイント等についての講習会が行われました。

当日は、JAいみず野管内の営農組合・認定農業者等約60名が参加されました。



研修内容については、水稻育苗で5月15日を中心とした田植えを徹底することで、白米熟粒等の品質低下を防止するために播種計画が重要となること・水稻育苗の水管理・温度管理の説明がありました。

次に直播栽培では、圃場の条件整備や播種量の目安、その後の田干しや水稻除草剤の栽培管理についての説明がありました。

また、水稻の重点技術対策として、田植え時の植付深さや栽植密度・田植え一ヶ月後の中干し作業、また出穂後20日間の湛水管理の徹底によるカドミウムの吸収抑制、病害虫防除の徹底などの説明がありました。

最後に土づくりでは、土壌改良資材の施用による珪酸、加里成分の補充やヘアリーブッチなどの緑肥作物・発酵ケイフンの施用による地力増強への取り組みについて説明がありました。

参加された皆さんは大変熱心に受講されていました。今年度も良品質米の生産が期待されます。

JAいみず野青年部 第10回通常総会



坪田三夫 青年部長

3月10日(月)、JAいみず野本店において「JAいみず野青年部第10回通常総会」が開催されました。

案として平成25年度事業内容並びに収支決算について報告がありました。事業報告では、①射水市内の小学生を対象に「食育」の一環として行なっている「チャレンジ農業体験」においてエタマメ栽培等を行なったこと、②環境対策として「廃プラスチック・廃農薬回収」に参加協力したこと、③JA東海北陸地区青年組織協議会青年の主張大会において優秀賞を受賞したこと、④JA富山県青年大会において実績発表において受賞したこと等があり、続いて収支決算について報告がありました。

第2号議案として平成26年度事業計画(案)並びに収支計画(案)について、審議されました。事業計画(案)では、「チャレンジ農業体験」においてサツマイモ栽培を行なうことや「廃プラスチック・廃農薬回収」に参加協力すること等が提案され、収支計画(案)についても承認されました。

第3号議案では役員改選について審議され、会員からの互選により青年部長に坪田三夫さん、副部長に沖和弘さん、田中智浩さんが選任されました。終わりに、今回承認された事業計画に基づき積極的な活動を展開していくことを確認し閉会しました。

第12回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクール

富山県農業教育振興会主催の第12回「かたろう富山の農業・ゆめ・みらい」作文コンクールの表彰式が、2月に富山県農協会館で行われました。

この作文コンクールは、富山県の若者が考える農業へのゆめや農業振興のアイディアなどを県内の中学生・高校生から募集しました。

J A いみず野管内からは、射水市立大門中学校1年（2月当時）の鈴木美里さんが「富山県農業機械化協会会長賞」を受賞されましたので、鈴木さんの作品を紹介いたします。

富山県農業機械化協会会長賞

農業の「いま」と「みらい」



射水市立大門中学校1年
鈴木 美里さん
(射水市生源寺)

ある日、母に一本の電話がかかってきた。「明日から葱の収穫が始まるがやけど、人出足らんから手伝いに出てくれんけ？」

私の祖父の家は代々農家だが、私の家は非農家である。そして、今は営農組合があり、自治会の人たちで協力して農作物を作っている。その手伝いに母がしばらく行くことになった。

営農組合は、平成16年に法人化された。作っている作物は、米や大豆の他、枝豆（たんころこ）、ブロッコリー、ニンニク、葱（ねぎたん）である。42ヘクタールの土地を51名の組合員で耕作しているらしい。

この時期は、枝豆と葱の収穫が重なってかなり忙しいそうだ。8時から始めている。そして、出荷の準備も自分たちで行う。まず、葱の皮をむいて、土を落とす。長さを整えて、3本ほどずつテープで巻いて、箱に入れる。通常より細いもの、形が悪いものは出荷できないので、選別が大変だ。葱の出荷は3週間である。その間、毎日組合員10数名で作業している。しかし、組合員は60代、70代の方が中心で、その

下の世代の人はあまりいない。しかも、家庭で作って食べるのとは違い、売り物にするので、色や形に気を遣う必要がある。大変なことがたくさんある。

そこまで苦労して作った野菜だが、出荷の相場によって高く売れる年もあれば、安く売ってしまう年もあり、極めて不確かなものである。また、出荷する時期も関わってくる。例えば、枝豆などの季節商品は少し遅く出荷したり早かったりする。値段が安くなってしまう。需要が多いときに出荷しなければ高く売れないのだ。

そして、一番大変なのは、出荷先に信用してもらうことだ。以前、キャベツを作っていたこともあったが、中に虫が入り、返品されて出荷できなくなったことがあった。母が手伝いに行っていた間、天気がひどく悪いことがあった。それでも休めないらしい。出荷先が他の産地の物を扱うようになった。それでは信用がなくなってしまうからだ。それほど信用が大切なのだ。組合員の方の話によると、野菜作りは博打のようなものだという。うまくできれば儲けがあるので、失敗すると大損をしてしまう。全くその通りだと思った。

野菜作りは同じ場所ですべて同じ物を作れなかったり、天気をみながら世話をしなければならなかったりする。これほど難しいのだが、そもそもなぜ野菜を作ることになったのか。それは「減反」による影響が大きい。

「減反」とは、国が行った政策で、米の作付面積を減らすことである。そして、米の代わりに他の作物を作ることを推進しているのだ。米の生産量を調整し、米の値を一定にすると同時に、

余っている米を増やさないようにする目的がある。そして、転作すると補助金が受けられるのだ。

しかし、もともと私の地域の辺りの土は、米作りの方が向いている。粘土質なので、良質な米は作れるのだが、野菜作りには不適なのだ。そして、水はけがよい所で育つような野菜は作れないので、自然と作れる種類は限られてくる。

ところで、なぜ日本でも米が余っているのか。それは、日本人の食の欧米化による影響が大きい。パンや麺類の普及によって、米の消費量は年々減っている。要するに、「日本人の米離れ」が起きているのだ。組合員の方によると、「作り慣れた米を本当は作りたい」「もったいない消費量が増えるといいがやけど」とのことだ。

他に、農家が抱えている問題には後継者不足がある。若い人が農業の道に進まなくなっているのだ。現実でないうえに、経験が物を言う世界なので、農家が減っているのだ。農家が減ったからどうなるかと思う人もいるだろうが、これは大きな問題なのである。もし米の消費量が増えたとしたら、このままだと生産が消費に追いつかない可能性もある。これが関係ないという人はいないだろう。このように、日本の農業問題は国民に深く関わっている。国に任せるとはならないこともあるが、個人でできることはある。例えば、国産米が使われているものを選ぶ、普段の朝食がパンなら、一日ご飯にしてみるなど。最近では、米を使った新しい商品の開発が進むなど、各々の方面での活動がみられる。

改めて私は、日本の農業の抱える問題を痛感している。すべての出来事は繋がっているのだ。自分の国の問題は、自分たちで協力して解決策を考える。この姿勢が大切だと思う。



●J A 富山県女性組織協議会発足60周年記念祝賀会へ出席して



三寒四温を繰り返し確実に春の足音が近づいている3月20日、雨晴温泉、磯はなび、へ県女性協役員・各部長・支部長およびOB役員他約130

有余名が集い、『J A 女性60年』『記念誌の発刊』『平成16年～平成25年』の記念祝賀会が盛大に開催されました。

細田会長の開会挨拶に始まり、中央会・全農・青壮年部・歴代役員の各ご来賓の方々からお祝辞がありました。女性協が発足した昭和29年7月から今日までの60年間、歴代多くの会長、役員、会員が相互に協力・行動・実行を積み重ねた賜物であり、時代の変換に伴い、時世を考慮しながら種々試行錯誤を繰り返して今日があること、そして

てこれからも「絆と協同の力」で活動に邁進して行こうと力強く宣言されました。

発足時は封建社会からの脱却を目途として農地解放問題・教育の自由・権利の平等他、今日では当たり前になっていたと思いますが、当初難題だった数々の挑戦・改良・改革が繰り返されて、その実績に納得出来るものが身近には沢山あり、豊かな生活環境が日常化しています。そして今、女性部がさらに成長・発展を成すため「未来の子供たちへ何を残すか」「安心・安全な食」「食と農の大切さ」等、さらなる協力・団結で取り組んで行かなければなりません。

『記念誌』はA4版約180ページで平成16年～25年の10年間、県内各支部のあゆみと佳事スナップがカラー印刷され、すばらしい冊子に仕上がっています。

盛大な宴会に花を添えたアトラクションでは、「津軽三味線演奏」「マジックショー」が披露されました。祝賀会に参加して感じたことは、「継続は力なり」、「結果は一朝一夕にして成らず」、そして仲間の大切さです。

今後ますます会が発展すること祈念するばかりです。(黒河支部)

●かあちゃん市総会

3月4日（火）、本店にてかあちゃん市の総会が開催されました。清水会長のもと本年度の活動計画等話し合い、総会を終えました。総会終了後、会員の親睦会が『磯はなび』にて開かれ、和気あいあいと楽しい一時を過ごしました。

◆本年度のかあちゃん市開催予定日時

4月2日（水）より12月まで
毎週水曜日開催
午後1時30分～売り切れ次第終了

場所

いっぴくや茶（J A いみず野大門支店前）

新鮮な野菜や花を取り揃えて販売いたしますのでぜひお立ち寄りください！

●助け合い組織総会

3月11日（火）、

本店にて助け合い組織の総会が開催されました。

石川会長のもと、今年も高齢者

と、今年も高齢者社会に対応する為、援助活動を通して安心して暮らせる地域社会づくりを進めることを確認しました。

●女性部総会

3月21日（金）、本店にて第11回いみず野農協女性部通常総会が開催されました。

河岸女性部長の開会の挨拶に始まり、来賓代表として水元代表理事組合長といみず野農協営農部の中橋部長より挨拶をしていただきました。

議案として平成25年度事業報告並びに収支決算報告が承認され、続いて平成26年度事業計画案、収支予算案が決議されました。続いて新役員の紹介を行い、無事総会が終了しました。

総会終了後、整理収納アドバイザーの浮田美紀子氏をお招きして

「衣類の整理と似合う洋服の見つけ方」と題し講演していただきました。



◆役員紹介

部長 河岸芳美（本部）
副部長 犀藤秋美（水戸田支部）
計 夏野勝美（南郷支部）
書記 向野和子（黒河支部）
広報委員長 前川美智子（片口支部）
委員 竹内千佳子（小杉支部、大江）
黒田節子（小杉支部、小杉）
柳橋玲子（小杉支部、戸破）

女性部では今後も楽しみながら、学べる活動を実施していきたいと思っておりますので皆様の参加をお待ちしております。

●かあちゃん市（野菜等の販売他）
●助け合い組織（ホットサロン他）
●愛菜グループ（6次産業のお弁当作り他）

今後の予定

4月19日（土）
県女性協通常総会 県J A 会館
6月1日（日）～3日（火）
ママさん大学
第51回J A 富山県女性部旅行

二等観覧券付き!

J A いみず野特選日帰りプラン!



春の京都! 都をどり!

◆旅行実施日 平成26年4月26日(土曜日)

◆ご旅行代金 お一人様¥14,800円

まだ!!
間に合います!

1	貸切バス (バスガイドは乗車いたしません)				京都府知事登録旅行業第2-267号 総合旅行業務取扱管理者 串田 真一			
	J A いみず野各地	— 小杉 I C —	京都南 I C —	八つ橋庵 —	花見小路散策 —	祇園甲部舞練場: 第 142 会	都をどり —	安井金比羅宮 —
	6:45 ~ 7:00	7:15			12:00/13:00	13:50 14:00 開演 15:00 終演予定		“悪縁を切り 良縁を結ぶ”
	— 京都南 I C — 小杉 I C — J A いみず野各地				お昼食とお買い物!			
					お座席: 式等観覧席 (自由席)			
					21:00 頃着			

安井金比羅宮

※添乗員は同行いたしません J A 随員が同行いたします。※食事条件: 朝食×0回 昼食×1回 夕食×0回

※上記コースは予定です。変更になる場合もございます。

★J A いみず野管内のバス発着場所・お時間は、最終日程表にてご案内させていただきます。

受託販売・本旅行のお申込・お問合せは 各支店または J A いみず野旅行センター 富山県知事登録旅行業第2-267号 総合旅行業務取扱管理者 串田 真一
■営業時間 午前8:30~午後5:00 ■休業日 土曜日・日曜日・祝祭日
射水市北野1555-1 TEL (0766) 52-0218 FAX (0766) 52-0286 本旅行は(株)農協観光の旅行企画・実施になります

非選択性茎葉処理除草剤

ホクコー

ザクサ
液剤



新登場!

根は枯らさず、
地上部を枯らす
除草剤!

- ① 200倍~100倍でスギナ、ツユクサなど、ほとんどの雑草を枯らします。
- ② 日陰でも低温でも高い効果を発揮します。
- ③ 雨でも高い効果を発揮します。
- ④ 水田畦畔、大豆の畦間にも使用できます。

園芸バケツが貰えるキャンペーン中!

期間: 9月末まで

2リ、5リ、10リ、20リの
いずれかをご購入の方
園芸バケツを
1個プレゼント!



目盛や注ぎ口があって使いやすい!
評判の10リ入りバケツです!

全国キャンペーンも実施中!



応募ハガキに必要事項を記入のうえ
応募すると豪華景品が抽選で
2,000名様に当たります!

お問い合わせは J A いみず野 各支店まで